



観光まちづくりリーディングプロジェクトの進捗状況

2022年度町田市観光まちづくり推進委員会

1-1

「町田薬師池公園四季彩の杜」を町田のシンボルに

- ・四季彩の杜全体の連携や調和を図った一体的なコーディネートにより更なる魅力向上を図る
- ・既存イベントに新たなコンテンツを追加し付加価値を創出
- ・長期的な視点でブランディングを行い。何度でも訪れたい魅力の創出

【指標】来園者数

現状値：115万人（2020年度）

目標値：125万人（2026年度）

▼
2022年度：128万人



2022年度 取り組み内容・成果

- ・ 四季彩の杜全体の連携を図るため施設連絡運営協議会の実施。開催回数5回
- ・ 既存の紅葉祭りにデジタル掛軸や四季彩の杜各施設でのワークショップ等を加えたイベントの実施。満足度81.9%
- ・ 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画の策定



2023年度 取り組み内容

- ・ 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画の策定。
(2023年10月策定予定)
- ・ リス園のリニューアルに向けたリス園基本計画の策定。
- ・ 回遊性向上に向けた取り組みの検討。



1-2 花とみどりの魅力を活かした事業の展開

- ・ウィズコロナの時代に即した、地域が主催するさくらまつりの支援
- ・さくら、ぼたん、ダリア、紅葉など、花や緑を活用した季節ごとの魅力創出
- ・フットパスの振興で地元の魅力を再発見

【指標】 イベント等の回数
現状値：24回/年（2021年度）
目標値：30回/年（2026年度）

▼
2022年度：26回/年



2022年度 取り組み内容・成果

- ・ 2022町田さくらまつりを3年ぶりに開催。来場者数39,000人
- ・ 薬師池にて3年ぶりに観蓮会を開催。
- ・ 市内のさくらを未来に残すため、ガバメントクラウドファンディングを活用。申込件数35件、寄付金額409,820円
- ・ フットパス等里山を歩くイベントを7回開催。累計参加者数95人
- ・ 小野路宿里山交流館累計来館者数30万人達成および記念式典の開催。来館者数363人



2023年度 取り組み内容

- ・ 町田さくらまつりの開催。
- ・ 花の開花時期を活かしたぼたんしゃくやくまつり、しょうぶあじさい祭り等の開催。
- ・ フットパスのPR活動の実施。

2-1 人や情報が集まる観光ネットワークの創出

- ・市内のイベント情報などを集約して発信するポータルサイトの構築
- ・四季彩の杜を題材にしたワークショップの開催や、町田かるたを使った大会の開催など、町田のファンを増やすイベントの実施

【指標】ポータルサイトの訪問数
現状値：なし（新規事業）
目標値：18,000回/月平均（2026年度）

▼
2022年度：未構築



2022年度 取り組み内容・成果

- ・相原まちづくり協議会の活動を支援し、相原駅西口で竹灯籠のライトアップを実施。
- ・稲城市と多摩市と連携したプロジェクトとして、四季彩の杜を使ったウォーキングイベントの開催。参加者数：13人
- ・四季彩の杜で小学生の夏休みの自由研究をテーマにしたワークショップの実施。参加者数：計218人



2023年度 取り組み内容

- ・大学や観光関連事業者等と官民学で連携した多摩地域マイクロツーリズムプロジェクトの実施。



2-2 「まちなか」と「おくまち」の連携の強化

- ・ 町田駅周辺施設での「おくまち」の紹介
- ・ 小野路宿里山交流館での、町田駅周辺の飲食店、名産品などの紹介

【指標】 紹介回数
現状値：なし（新規事業）
目標値：累計10回（2026年度）
▼
2022年度：累計2回



2022年度 取り組み内容・成果

- ・町田モディにて小野路地域の紹介コーナーを設置。
(2023年3月10日～3月26日)
- ・町田駅前のペDESTリアンデッキを使い、四季彩の杜の花とみどりの壁面パネルを設置。(2023年3月中旬～ペDESTリアンデッキ工事終了まで設置予定)



2023年度 取り組み内容

- ・小野路宿里山交流館開館10周年に合わせ、施設についてまちなかでのPRの実施。
- ・里山についてまちなかでのPRの実施。

3-1 ウィズコロナのシティセールスの推進

- ・デジタルスタンプラリーの実施
- ・観光コンテンツのデジタル化
- ・AIチャットボットの導入など



【指標】デジタルコンテンツ数
現状値：なし（新規事業）
目標値：累計15件（2026年度）
▼
2022年度：3回/年



2022年度 取り組み内容・成果

- ・アニメとコラボレーションしたデジタルスタンプラリーを開催。参加者数1,100人
- ・LINEを活用した市内をめぐりながら楽しむことができる「まちだ謎解きゲーム」を開催。参加者数15,000人以上、満足度99.6%



2023年度 取り組み内容

- ・スマートフォンを使った観光スポットを巡るイベントの実施。
- ・まちだ謎解きゲーム第3弾の実施。



3-2 季節感をアピールした情報発信

- ・ 四季ごとの観光プロモーションの展開
- ・ WEB媒体へのニュースレターの配信

【指標】 情報発信回数
現状値：1回/年（2021年度）
目標値：4回/年（2026年度）

▼
2022年度：4回/年



2022年度 取り組み内容・成果

- ・タウン誌を使った秋のイベントプロモーションの実施。
- ・WEB媒体へのニュースレターの配信。
 - ① 2022年度認定されたまちだ名産品のプロモーション
 - ② 市内各地で開催される秋のイベントを集約したプロモーション
 - ③ 春の町田のプロモーション

(その他)

海老名駅や新百合ヶ丘駅など近隣市で行われるイベントにブース出店し、観光プロモーションの実施



2023年度 取り組み内容

ニュースレター等を通じた、季節感をアピールするプロモーションの実施。



3-3 ロケーションの支援

- ・ロケーション受け入れ態勢の整備
- ・情報番組等への情報提供



【指標】 放送回数
現状値：27回/年（2020年度）
目標値：50回/年（2026年度）
▼
2022年度：30回/年



2022年度 取り組み内容・成果

・東京ロケーションボックスを通じてロケ地の情報提供を行い、映像撮影会社等からのロケーション相談を受付。放送された番組について、町田市ホームページで紹介。

(主な放送作品)

ブラタモリ (TV番組)、終末の探偵 (映画) 等を支援。



2023年度 取り組み内容

・ロケーション相談を受付し、放送された番組については町田市ホームページで紹介。

・ロケーション受け入れ態勢の整備に向け調整。

